

地域計画（モデル地区）の取組状況（令和6年12月末時点）

守るべき農地を明確化して、担い手への集積・集約化を図る				群馬県太田市 新田市前地区	
農業を担う者数 （うち担い手）	約62経営体 （約27経営体）	農地面積 （うち農振農用地）	83ha （77.8ha）	主な農畜産物	米麦、ナス
農業地域類型	平地農業地域	遊休農地	1.7ha	現状の集積率 （目標）	44% （85%）

地域の現状と課題	将来の地域農業の方向性
・米麦を主な作物とする。 ・高齢化が進んでおり、2割以上の農家が、10年以内に規模を縮小する意向である。 ・半数以上の農家及び農地所有者が、貸したい農地があると回答しており、担い手がいないと荒れ地が増えてしまう可能性がある。 	・守るべき農地を明確化し、担い手への農地の集積を加速化する。 ・水田における野菜や果樹等の高収益作物への転換等、地域としての農業上の土地利用の在り方の方向性を検討する。 ・地域としての農業コミュニティを維持・発展させることで農業者同士で情報交換ができる体制の構築を図る。 

協議を進める過程で発生した課題	取組経緯（課題への対応）及び今後の予定
①後継者不足 約6割の経営体で後継者がいない。（アンケート結果） ②経費の負担増による営農継続への不安 米麦は単価が低い上に、生産資材高騰や高額な農業機械等経営負担が大きい。 ③農地の交換・移動が困難 約7割の経営体が、耕作している農地の交換・移動について、不可と回答した。（アンケート結果）	・令和5年4月 農業委員会によるアンケート実施済み ・令和5年7月 協議の場の1回目（7/27）を開催（地域農業の現状や農業者の意向を参加者で共有し、地域の課題の洗い出しを行った。） ・令和5年8月 協議の場の2回目（8/9）を開催 ワークショップを行い、具体的な行動案など、班別の意見発表を実施した。 ・令和5年9月 協議の場の3回目（9/28）を開催 地域計画及び農業委員会が策定した。 目標地図の素案を示し、質疑応答を行った。 ・令和5年10月 市HPにて「協議の場の結果」公表（10/6） ・令和7年3月 市内の他地域の地域計画と共に公表予定。 